



# INTRODUCTION

## MESSAGE

『情報価値のサステナビリティを目指して』

2023年10月、当社グループはサステナビリティ方針を定めました。

お客さまに寄り添い、関わる方々へ心動かす価値を届け続けることが私たちのサステナビリティだと考えております。

サステナビリティ推進のためには、  
私たちひとりひとりが、社会やお客さまの課題の本質を理解し、  
課題解決に向けた行動をとり続けることが重要です。

日々の行動を通して心動かす価値を届けるという私たちの目指す姿を  
このたび『心動かす価値創造レポート』としてまとめました。

このレポートを通じ、私たちの想いをお届けできると幸いです。

2024年3月  
株式会社シイエム・シイ  
代表取締役社長

佐々幸恭



## INDEX

- 02 CMC GROUP SUSTAINABILITY (基本方針) [🔗](#)
- 03 ビジネスモデル戦略 [🔗](#)
- 04 心動かす価値創造プロセス [🔗](#)
- 05 重点取組課題(マテリアリティ) [🔗](#)
- 06 価値創造の源泉 [🔗](#)
- 08 価値創造の歴史 [🔗](#)

### 編集方針

本レポートは、当社グループのビジョン実現に向けた戦略ストーリーや取り組みをまとめ、ステークホルダーの皆さまとの対話を促進するツールとして発行しております。今後、内容の一層の充実に努めてまいります。

### 開示情報

当社の開示情報については、  
下記ページよりご確認ください。

[🔗 サステナビリティ](https://www.cmc.co.jp/sustainability/) <https://www.cmc.co.jp/sustainability/>

[🔗 IRニュース | 投資家の皆さまへ](https://www.cmc.co.jp/ir/) <https://www.cmc.co.jp/ir/>

## CMC GROUP SUSTAINABILITY

PURPOSE | 存在意義 |

## 情報価値のサステナビリティを目指して

必要な時に、必要な情報を、最適な方法で提供することで関わる方々へ心動かす価値を届け続けよう

## サステナビリティ基本方針

創業以来、時代に合わせて提供するサービスを変えてきましたが、お客さまに寄り添い、関わる方々へ心動かす価値を届けるという本質は変わりません。

人が本来持つ能力や獲得したスキルと、データの特性を組み合わせることで、仕事の進め方、日々の過ごし方が変わります。可能性を広げ、暮らしをもっと楽しくするご支援をまいります。



VISION | 描く未来 |

人とデータの共生で、  
暮らしをもっと楽しく

事業計画

中期経営方針  
会社方針・部門方針

VALUES | 行動基軸 |

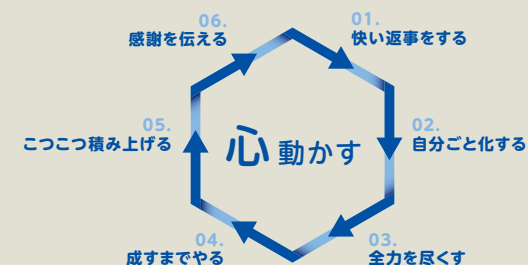
CMC GROUP Way

当社グループの理念体系は、ひとりひとりがビジョンを実現する姿を示しています。ビジョンの背景にある「くらし」のイラストは、私たちが実現したい未来です。心動かす価値を届け続けることで、ビジョンの実現に挑み続けます。

## CMC GROUP Way

<https://cmc.jp/about/vision/>

お客さまをはじめとした、ステークホルダーの皆さまの信頼に応えるために、全社員が取るべき行動を示しています。

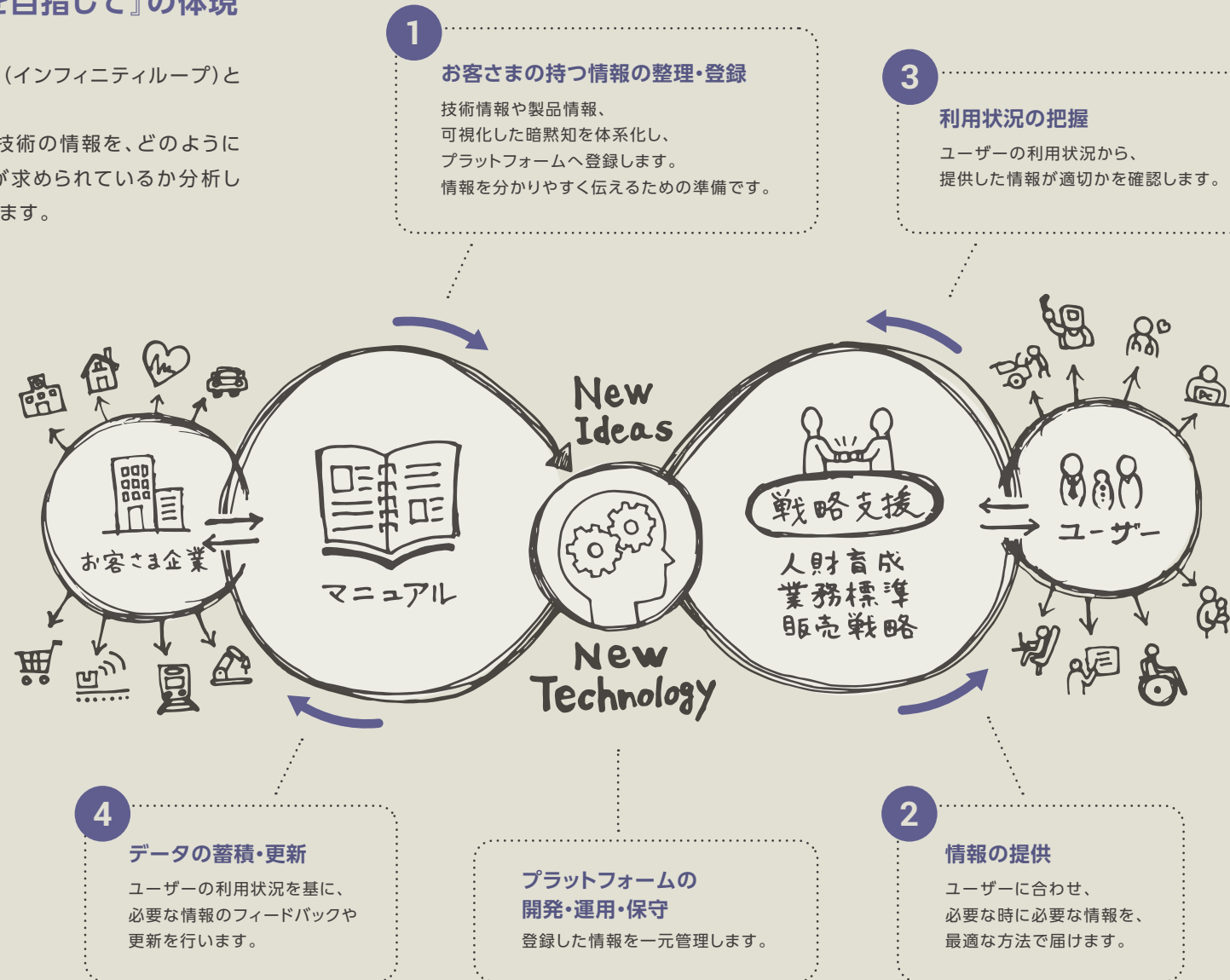


# ビジネスモデル戦略 ∞-Loop(インフィニティループ)

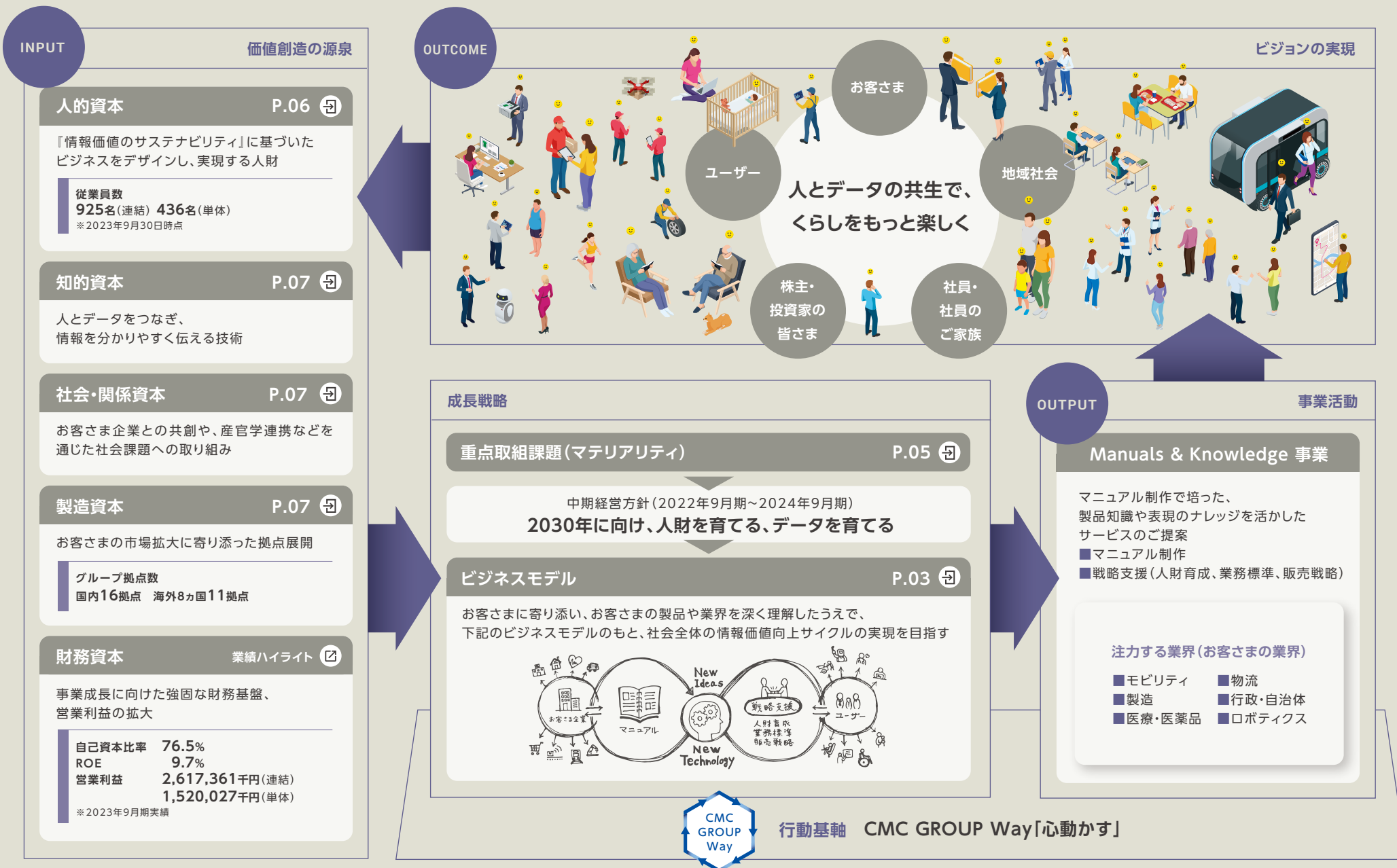
## 『情報価値のサステナビリティを目指して』の体現

私たちのパーパスを体現するのが、∞-Loop(インフィニティループ)と呼んでいるビジネスモデル戦略です。

情報を扱う企業として、お客さまの持つ製品や技術の情報を、どのようにユーザーへ伝えるか考え、どのような情報が求められているか分析しながら、より必要とされる情報の伝達を実現します。



# 心動かす価値創造プロセス



# 重点取組課題(マテリアリティ)

社会課題の解決を通して、お客さまをはじめとする関わる方々へ心動かす価値を届けたいと考えています。  
お客さまに寄り添い、当社グループのマテリアリティを解決することで持続可能な社会づくりへ貢献します。

## ■ マテリアリティと取組例

関連する 主なSDGs	8 働きがい を促進せよ	9 産業と 雇用をつくらせよ	9 産業と 雇用をつくらせよ	10 人や国の 格差をなくせよ	12 つぎの 世代につぐり よう	16 平和と公正 な社会を つくろう	3 持続可能な 成長を達成せよ	4 質の高い 教育を もたらせよ	9 産業と 雇用をつくらせよ	11 人や国の 格差をなくせよ	12 つぎの 世代につぐり よう	17 持続可能な パートナーシップ を促進せよ
主な機会 とリスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術の進化</li> <li>・技能者の高齢化、技能伝承の必要性</li> <li>・労働人口の減少</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品やサービスの進化、複雑化</li> <li>・ユーザーの安全安心な利用を保障する法令の施行</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康寿命・生涯寿命の延伸</li> <li>・人財の移動、流出</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術の進化</li> <li>・お客さまの環境に対する対応加速</li> </ul>			
重点取組 課題	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">1</p> <p style="text-align: center;">人財不足解消および生産性向上に つながる<b>行動変容</b>への貢献</p>		<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">2</p> <p style="text-align: center;"><b>安全安心</b>に製品・サービスを利用できる環境構築への貢献</p>				<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">3</p> <p style="text-align: center;"><b>多様な人財</b>が楽しく働き活躍する環境構築への貢献</p>		<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">4</p> <p style="text-align: center;"><b>次代につながるビジネス</b> 基盤づくりへの貢献</p>			
取組例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DXの推進(業務変革、省人化)</li> <li>・業務標準化(効率化、生産性向上)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を必要とする人へ届ける仕組みづくり</li> <li>・グループガバナンスの強化</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・人財の育成</li> <li>・QOL/QOWの推進</li> </ul> <p>※QOL:Quality of life, QOW:Quality of work</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に配慮したお客さまの業務変革支援</li> <li>・産官学と連携した共創活動</li> <li>・時代に対応した技術の活用</li> </ul>			

## ■ マテリアリティの特定プロセス

### 1. 課題候補の選定

サステナビリティ推進メンバー(事業部門ごとの代表者)がSDGs(持続的な開発目標)を参照し、当社グループに関係する重要課題候補を選定

### 2. 重要性評価

選定した課題を、お客さまをはじめとする「ステークホルダーからの期待・関心」と「当社グループにおける事業の重要性」の2つの観点で評価

### 3. マテリアリティの特定

双方の観点で優先度が高いと評価した項目について、役員と議論を行い、当社グループのマテリアリティを特定

# 価値創造の源泉 | 人的資本

当社グループは、「人財」を最大の財産と考えています。  
プロフェッショナルな人財の活躍を、価値創造のための重要な取り組みと位置づけ、推進しています。

## 人財の育成

お客さまに深く寄り添い、『情報価値のサステナビリティ』に基づいたビジネスをデザインし、実現できる人財として活躍できるよう育成を行っております。

### 主な取り組み\*1

- 行動軸の啓発・浸透  
(CMC GROUP Way推進事務局)
- 市場・機能・役割に応じた専門的な教育
- 専門性向上  
(社長直轄選抜研修、次世代人財育成研修、オンライン型研修プラットフォーム [トンガルCAMP]など)
- 品質向上の啓発・対策 (CS推進委員会)
- 自律的なキャリア形成支援
- 自己啓発の支援 (教育費用の補助、資格手当)



## 人財活躍環境の整備

社員がお互いに多様性を尊重しつつ、安心して、生き生きと働ける職場環境の実現を目指しています。

### 主な取り組み\*1

- 多様な働き方を実現する制度、風土づくり  
(フレックスタイム制度[コアタイムなし]、在宅勤務制度、育児休業制度、介護休業制度、副業制度、継続雇用制度など)
- 健康の推進  
(法定を上回る定期健康診断の実施、健康増進やメンタルケアに関するセミナーの開催、CMC GROUP Way体操の実施、精神保健福祉士による相談窓口の設置など)

## 数字で見る人的資本の状況

\*連結従業員数・ICT人財比率を除いて、(株)シイエム・シイ単体、2023年9月30日現在の数字です。

連結従業員数

925名

単体従業員数

436名\*2



グループ ICT人財 223名

グループ整備士資格保有者 206名

…うち国家整備士1級取得者 42名

平均勤続年数 15.5年\*2



有給休暇取得率

80%

ノー残業デー実施率

77%



管理職・リーダー職に占める女性の割合\*3.4

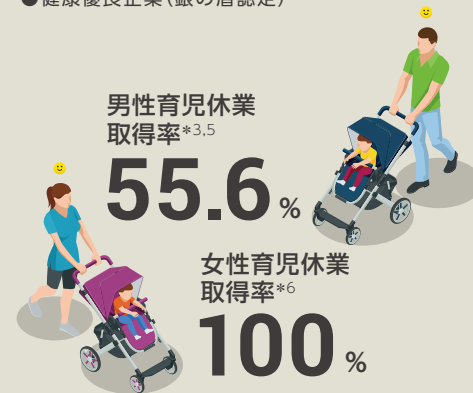
17.8%

男性育児休業取得率\*3.5

55.6%

女性育児休業取得率\*6

100%



\*1. (株)シイエム・シイ単体の取り組みを含む \*2. 当社から他社への出向者を除き、他社から当社への出向者を含む就業人数 \*3. グループ会社を含む他社への出向者を含み、役員、パート、アルバイト、受入出向者は含まない422名を母数として算出  
\*4. 管理職に占める女性の割合は、(株)シイエム・シイ6.2%、(株)CMC Solutions22.2%、(株)CMC エクスマニコム31.3%、(株)メイン42.9% \*5. 取得期間2週間以上、(株)メインは取得率100% \*6. 取得期間1年以上(産後休業を含む)

## 社外からの評価

### (株)シイエム・シイ



健康経営優良法人2024  
(大規模法人部門)  
4年連続認定



名古屋女性活躍推進認定企業



スポーツエールカンパニー2024+

### (株)メイン

- 健康経営優良法人2024 (中小規模法人部門) 4年連続認定
- 健康優良企業 (銀の盾認定)
- くるみん認定2023
- えるぼし3つ星認定
- TOKYOライフワークバランス認定企業
- TOKYOパパ育児促進企業2023
- 港区ワーク・ライフ・バランス認定企業
- スポーツエールカンパニー2024

### (株)CMCエクスメディカ

- 健康優良企業 (銀の盾認定)

# 価値創造の源泉 | 知的資本、社会・関係資本、製造資本

## 知的資本 | 社外からの評価

### DX認定

お客さまおよび社内のDXを推進する事業者として、経済産業省から認定されています。



### FSC® 認証\*1

適切に管理されたFSC® 認証林、再生資源およびその他管理された供給源からの原材料で作られた製品を提供しています。



責任ある森林管理のマーク  
FSC® C179088

### ISO27001 認定 (情報セキュリティ)



### ISO9001 認定\*1,2(品質) ISO14001 認定\*1,2(環境)



QMS, EMS  
JIS Q 9001  
JIS Q 14001  
JSAQ330, JSAE379

\*1.登録組織:中川事業所 \*2.登録範囲:総合印刷物(カタログ、取扱説明書等)の制作

## 社会・関係資本 | 社外への賛同・加盟協会

・パートナーシップ  
構築宣言



・愛知eスポーツ連合



・地方創生SDGs  
官民連携  
プラットフォーム



- ・MONETコンソーシアム
- ・三次元スキャンテクノロジー協会
- ・中部マーケティング協会
- ・財団法人 テクニカルコミュニケーター協会
- ・公益社団法人 日本印刷技術協会
- ・全日本印刷工業組合連合会
- ・財団法人 愛知県社会保険協会

## 製造資本 | 国内外拠点

- ・ Maruboshi Europe E.U.R.L.\* (フランス)
- ・ Maruboshi Europe B.V.\* (オランダ)
- ・ Maruboshi Central & Eastern Europe Sp. zo.o. (ポーランド)



- ・ 広州国超森茂森信息科技有限公司\* (中国2拠点) <http://www.cmc-china.cn>
- ・ 北京国超森茂森網絡科技有限公司 (中国) <http://www.cmc-china.cn>
- ・ CMC GROUP ASIA CO., LTD.\* (タイ・シンガポール) <https://www.cmcgroupasia.com>
- ・ 台湾丸星資訊科技股份有限公司 (台湾2拠点) <https://www.maruboshi.com.tw>

欧州

3 拠点

国内

16 拠点

アジア

7 拠点

北米

1 拠点

- ・ CMC PRODUCTIONS USA, INC. (アメリカ)  
<https://cmcprousa.com>

- ・ 株式会社シイエム・シイ (8拠点) <https://www.cmc.co.jp>
- ・ 株式会社CMC Solutions\* <https://www.cmc-solutions.co.jp>
- ・ 株式会社CMCエクスマニコム\* <https://www.cmc-xmanicom.co.jp>
- ・ 株式会社メイン\* <https://www.cc-main.co.jp>
- ・ 株式会社CMCエクスメディカ\* <https://cmc-xmedica.co.jp>
- ・ 府中自動車株式会社\* <http://www.fuchucar.co.jp>
- ・ 株式会社フィット <https://www.fit2001.com>
- ・ 木村情報技術株式会社 <https://www.k-idea.jp>
- ・ ドリームスデザイン株式会社 <https://www.dreams-design.co.jp>

\*連結対象子会社

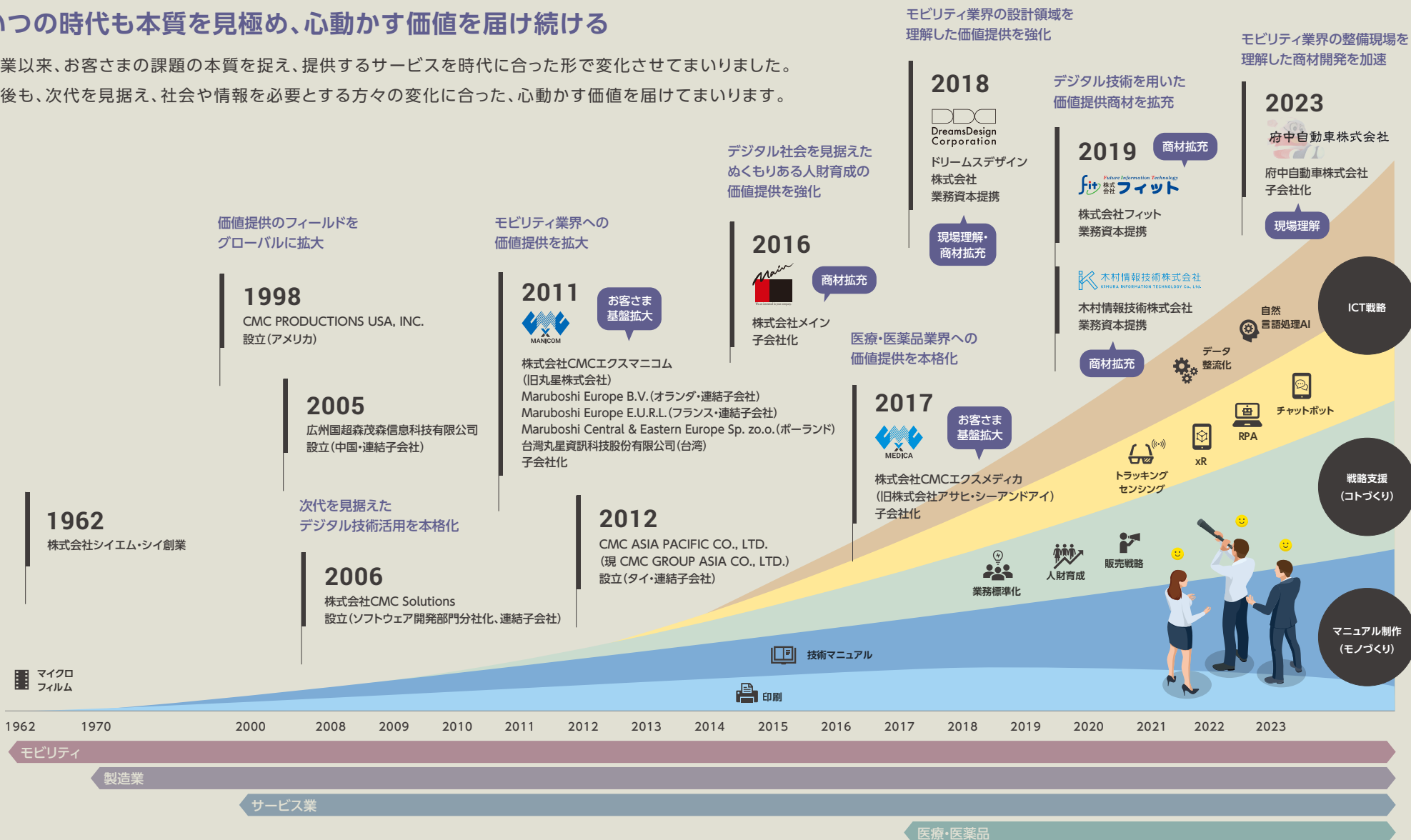
※認定及び加盟団体は(株)シイエム・シイのものです。



# 価値創造の歴史

## いつの時代も本質を見極め、心動かす価値を届け続ける

創業以来、お客さまの課題の本質を捉え、提供するサービスを時代に合った形で変化させてまいりました。今後も、次代を見据え、社会や情報を必要とする方々の変化に合った、心動かす価値を届けてまいります。



※モビリティ業界は、人や物の移動に関わる製品やサービスを提供しているお客さまを総称しており、自動車・航空・鉄道など多岐に渡ります。

# CMC GROUP

<https://cmc.jp>

## 心動かす価値創造レポート

2024年3月発行

---

《発行元・お問い合わせ先》

**株式会社シイエム・シイ**

〒460-0021

愛知県名古屋市中区平和1-1-19

経営企画部 経営企画室

[keieikikaku@cmc.co.jp](mailto:keieikikaku@cmc.co.jp)